

授業科目〔卒業研究Ⅰ（４年生前期／演習科目／卒業必修）〕	
到達目標	卒業研究の作成に必要な知識と技能を習得し、活用できる。 研究のテーマを設定し、研究の背景と目的を明確にした上で、適切な方法から結果と考察を導き、卒業研究論文を作成できる。

	内容・項目	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
1	論文の基本的構成	文章のレイアウト、図表の表記、文字サイズが論文の体裁として適切に表現できる。	文章のレイアウト、図表の表記、文字サイズが論文の体裁として概ね適切に表現できる。	文章のレイアウト、図表の表記、文字サイズが論文の体裁としてある程度表現できる。	文章のレイアウト、図表の表記、文字サイズが論文の体裁として不十分である。
2	研究の背景	先行研究を挙げ、根拠を示しながら研究背景について適切に記述できる。	先行研究を挙げ、根拠を示しながら研究背景について概ね適切に記述できる。	先行研究を挙げ、根拠を示しながら研究背景についてある程度適切に記述できる。	先行研究の根拠の記述と、研究背景についての記述が不十分である。
3	研究の目的	研究背景を基に、研究の目的と意義について適切に記述できる。	研究背景を基に、研究の目的と意義について概ね適切に記述できる。	研究背景を基に、研究の目的と意義についてある程度適切に記述できる。	研究背景を基に、研究の目的と意義について記述する点が不十分である。
4	研究の方法	調査・実験概要などが明確であり、実施する意図が理解できるように適切に記述できる。	調査・実験概要などが明確であり、実施する意図が理解できるように概ね適切に記述できる。	調査・実験概要などが明確であり、実施する意図が理解できるようにある程度適切に記述できる。	調査・実験概要などが不明確であり、実施する意図についての記述が不十分である。
5	研究の結果	調査や実験結果を図表などを用いて適切に整理し、記述できる。	調査や実験結果を図表などを用いて概ね適切に整理し、記述できる。	調査や実験結果を図表などを用いてある程度適切に整理し、記述できる。	調査や実験結果を図表などを用いた整理と記述が不十分である。
6	考察・結論	結果を基に根拠を示しながら適切に記述できる。	結果を基に根拠を示しながら概ね適切に記述できる。	結果を基に根拠を示しながらある程度適切に記述できる。	結果を基に根拠を示す記述が不十分である。
7	図表の表記	図表を的確に活用し、適切に表記できる。	図表を的確に活用し、概ね適切に表記できる。	図表を的確に活用し、ある程度適切に表記できる。	図表の活用と表記が不十分である。
8	文献の引用	論文としての引用方法、引用箇所と文献との対応、引用・参考の分け方など適切に表記できる。	論文としての引用方法、引用箇所と文献との対応、引用・参考の分け方など概ね適切に表記できる。	論文としての引用方法、引用箇所と文献との対応、引用・参考の分け方などある程度適切に表記できる。	論文としての引用方法、引用箇所と文献との対応、引用・参考の分け方が不十分である。
9	プレゼンテーション	見やすさ、わかりやすさに留意し、視覚効果を十分に考慮したスライドを適切に作成できる。	見やすさ、わかりやすさに留意し、視覚効果を十分に考慮したスライドを概ね適切に作成できる。	見やすさ、わかりやすさに留意し、視覚効果のある程度考慮したスライドを作成できる。	見やすさ、わかりやすさに留意し、視覚効果を考慮したスライドの作成が不十分である。